



# 学校だより

平成 29 年 7 月 3 日  
7 月号  
調布市立第一小学校  
校長 富岡 雅裕

<http://chofu-1sho@chofu-schools.jp> Tel.042(481)7636

## ふれあい月間を終えて

副校長 西澤 圭一

例年なら梅雨本番の6月ですが、雨の日が少なく、気温も高くないため過ごしやすい日が続いています。

学校では、外壁塗装工事が始まり、登下校の門が変わったり、校庭が狭くなったりと、少々落ち着きにくい環境になっていますが、子供たちは元気に学習に取り組んでいます。

さて、6月は「ふれあい月間」として、人との心のふれあい、つまり、かかわりを大切に作る気持ちを高める活動に取り組む1ヶ月でもありました。

昨年度と同様、あいさつ運動の実施、道徳や学級活動でのかかわりを大切にしたい指導の充実、いじめアンケートの実施などが行われました。

あいさつについては、昨年度の学校評価において、教員だけでなく、保護者の皆様からも「挨拶できる子が増えた」とプラスの評価をいただきました。今、校内では朝から下校まで、様々な挨拶が交わされています。あいさつをするだけで、相手と心のつながりを感じ、相手を大切にしようとする気持ちが高まります。人とのコミュニケーションの第一歩となるあいさつの素晴らしさを感じます。

昨年度1年間の継続的な取り組みが成果となって現れてきたのだと思います。学校においては、校長が朝会で年間を通じて、あいさつについて話をしてきました。また、週の生活目標としても、毎月1~2週間はあいさつに関する目標を設けてきました。さらに、「あいさつは、相手を見て、心を込めて、お辞儀をしながら」という合言葉も定着できるよう、どの教職員も同じスタンスで指導を行いました。また、保護者の皆様のあいさつ運動への参加や、地域の方々の通学路見守りの中でのあいさつも子供たちの心に訴えるものがあつたのだと思います。ご協力に感謝いたします。



とはいえ、まだ2割ほどの子があいさつできない状況にあります。先日、あいさつが返ってこない子に、理由を聞いてみました。理由には、以下のようなものがありました。

- ・恥ずかしいからしない。
- ・気づかないからしなかった。
- ・あいさつしないといけないとはわかっているけど、なんとなく気恥ずかしい。
- ・あいさつの良さがわからない。

私も子供のころ近所の人に会ったとき、あいさつをきちんとしたり、丁寧な言葉遣いをしたりしないといけないことはわかっていたが、気恥ずかしくてわざと悪い言葉遣いをしていた時期がありました。その後、中学生になったときには、あいさつすることや丁寧な言葉遣いをすることは当たり前のようにできるようになりました。私の場合は、中学生になって、少しは大人のようにふるまうべきだと感じたことが、変化のきっかけだったと思います。

今、あいさつができない子の多くは、私のように何かのきっかけであいさつできるようになると思います。根気よく声をかけていきたいと思っています。

最も気になるのは、あいさつの良さがわからないという子たちです。最近では、あいさつの習慣がない家庭や地域もあると聞きます。多様な価値観の認められる現代社会の影響も感じさせられます。こちらでも根気よく、あいさつの良さを伝え、感じられる体験を積めるようにして、少しずつでも変わってほしいと思います。あいさつしない子が通り過ぎてしまうのをそのままにせず、温かい言葉かけを学校全体で行っていきたくと考えています。

## 7月の生活目標 物を大切にしよう

物の豊かな社会に生きる子供たち。物を大切にする心を育て、自分の持ち物、人の持ち物、学校の物を大切にする習慣を培いたいと思っています。

自分の持ち物を大切にするために名前を必ず付けること、掃除用具や食器などみんなでするものは正しく使い、後始末をしっかりとすることを重点的に指導していきます。

# 4年 地域安全マップを作ろう



4年生の社会科の学習では、消防の仕事や警察の仕事を通して、地域社会における災害や事故・犯罪の防止について学習しました。そのまとめとして、事故や事件から安全なくらしを守るために、自分たちにできることを考えました。保護者の方の協力をいただいて地域のフィールドワークを行い、事故や事件の防止という観点から、自分たちの地域を見直して、「地域安全マップ」にまとめています。

## 児童の感想から

- 一番危険だと思ったのは、家と家のすきまの暗くて狭い所だった。とても隠れやすいので危ない。
- カーブミラーがあれば安全なわけではなく、自分の目で確認してから渡る必要がある。
- 防火水槽や消火器・消火栓が意外とたくさんあって、火事対策をしていることが分かった。
- たくさんの「こどもの家」があって、わたしたちを守ってくれている。



- 明るいうちは大丈夫だけど、暗くなると危険な道がある。
- ガードレールがないと、車が自分の所に来そうで怖かった。車と近かったから、乗せられてしまうかもしれないと思った。
- 誰でも入れて見えにくい所は、1人で入ると危険だから大人と行くようにしたい。
- いつも通っていても、本当は危険だったり、犯罪や事故が多発したりする道があると思った。
- コンビニは「こどもの家」になっていることが多い。だからコンビニは安全だと思った。

- スーパーの前は、自転車がたくさん走っていて危険だから、端に寄った方がいい。
- 地域の人たちはわたしたちのために、いろいろなことをしてくれている。まだ危険な所が多いから、調布市を安全なまちにしたい。
- 友達のお母さんの話を聞いて、家の近くでは交通事故がたくさん起きていることが分かった。
- T字路は、すべての場所にカーブミラーをつけた方がいい。
- ガードレールがある所とない所では、安心感が違う。
- 安全な場所が少ないから、ガードレールやカーブミラーを設置したりしたい。調布市を、犯罪や事故が少なく安全なまちにしたい。



# ICT 教育 実践報告会

ICT 推進委員長 田代 光明

6月16日(金)の5時間目に、1年3組で図工「つむつむ ねんどらんど」、4年3組で国語「写真をもとに話そう」、6年3組で体育「跳び箱運動」、ひまわり学級で算数「計算のしかたを考えよう」の公開授業を行いました。これら4つの授業は、全てタブレット端末を活用した授業実践で、市内外から、100名を超える多くの先生方などが来校しました。とても多くの参観者にいつも以上に緊張しながらも、子供たちは、タブレットに自分の考えを書き込んだり、タブレットを使って映し出された教材を意欲的に観察したり、自分自身がタブレットを操作したりしながら、これまで取り組んできた学習の成果を発揮していました。

今回のタブレットを用いた授業の実践報告会は、東京都のICT教育環境整備支援事業を受けたもので、本校では、昨年度の9月より60台のタブレットパソコンを導入し、全ての学年・学級でその活用の推進に取り組んできました。導入当初は、ICT機器の操作に不慣れだったこともあり、児童も教師も、まずタブレットに触れてみる、タブレットで絵をかいてみる、写真を撮ってみる、といったことから始めました。「とにかく使う。」を合言葉にスタートした取り組みでしたが、徐々に効果的な活用の仕方も見えてくるようになり、学習場面に応じて、教材提示に使用する方法や児童一人一人がノートの代わりに使う方法、グループでの学び合い学習に活用する方法など、多くの実践事例を積み上げることができました。

今回の実践報告会、及びICT教育環境整備支援事業の取り組みを通して、子供たちはどんどんタブレットのより良い使い方を自分たちで発見していくということを感じました。その子供たちの姿をヒントにし、今後、更にタブレットを初めとするICT機器を上手に使う授業、効果的に使う授業の追求していきたいと思えます。



## クリーン作戦について

2学期始業式の前に地域の清掃活動である「クリーン作戦」がPTA 校外部の方々の御協力のもと、行われます。

日頃お世話になっている地域への感謝の気持ちをもつことや、ゴミのポイ捨てをしないようにする気持ちを高めることなどをねらいとしています。大勢の参加をお待ちしております。

日時 8月25日(金) 7時30分に学校に着くように各地区班の集合場所から出発

内容 地域のゴミ拾い

拾ってきたゴミの分別

調布市環境部ごみ対策課の方のお話

※詳しくはPTAからのプリントを御覧ください。

## 2 学期始業式

8月28日(月)

8:20 までに通常通り登校

8:35～ 始業式(体育館)

4 時間授業 給食なし

下校時刻、時間割等は各担任からの連絡で御確認ください。

# 7月の行事予定

日	曜日	主な行事
1	土	
2	日	
3	月	朝会 クラブ活動
4	火	安全指導 授業参観保護者会(156)
5	水	集会 避難訓練 4時間授業
6	木	都学力調査(5) 授業参観保護者会(234ひ)
7	金	読書
8	土	
9	日	
10	月	朝会 クラブ活動
11	火	
12	水	集会 着衣泳(35)
13	木	水道キャラバン(4) そうじなし時程 学校保健委員会
14	金	読書 給食終 全学年5時間授業
15	土	
16	日	
17	月	
18	火	短縮時程
19	水	短縮時程
20	木	短縮時程 終業式 大掃除 PTA校内自転車交通安全教室(3)
21	金	夏季休業日始 岩井臨海学園事前健診(6) 学校プール① 個人面談①

22	土	
23	日	岩井臨海学園始(6)
24	月	個人面談②
25	火	岩井臨海学園終(6) 個人面談③
26	水	学校プール② 個人面談④
27	木	学校プール③ 個人面談⑤
28	金	学校プール④ 個人面談⑥
29	土	ふれあいプール①
30	日	ふれあいプール②
31	月	個人面談⑦終 ふれあいプール③
8月1日	火	ふれあいプール④
2	水	ふれあいプール⑤
3	木	ふれあいプール⑥
4	金	ふれあいプール⑦終
21	月	学校プール⑤
22	火	学校プール⑥
23	水	学校プール⑦
24	木	学校プール⑧
25	金	クリーン作戦
～8/27 夏季休業日		
28	月	短縮時程 始業式 大掃除
29	火	安全指導 給食始 計測(56)

※今年度は、外壁改修工事のため補習教室(ぐんぐんサマー)は実施しません。

## 学校保健委員会

学校保健委員会は、学校における健康の問題について話し合い、健康づくりを推進するための会です。毎年1回、保護者の皆様に保健に関するお話や情報を提供する場として実施しています。

本年度は、歯科校医の先生より本校の実情を踏まえながら家でも取り組める虫歯予防などについて、お話していただきます。PTAのいっしょカードのポイントとして参加する方だけでなく、より多くの方に聞いていただきたいと考えています。大勢の方の御参加をお待ちしております。詳しくは、学校からの案内を御覧ください。

日時: 7月13日(木)午後3時～ 場所: 会議室

講師: 本校歯科校医 船田歯科医院 船田 幹郎先生

## 岩井臨海学園

6年生は7月23日(日)から7月25日(火)の2泊3日で岩井臨海学園に行きます。

目的は以下の通りです。

- (1) 集団宿泊訓練により、お互いに協力して、規則正しく楽しい学園生活を体験する。
- (2) 夏の太陽を浴び、きれいな空気を吸って、海辺で安全で健康な体力作りをする。
- (3) 地域によって異なる自然の様子や人々の生活にふれ、海辺での自然に親しみながら豊かな心を育てる。

日本家屋の民宿「やまげん」で寝食を共にし、海では安全に気をつけながら波乗りやボート遊び、サンドアートなどを行います。夜にはキャンプファイヤーや肝試しも予定しています。小学校生活最後の宿泊行事ということで、子供たちはとても楽しみにしているようです。実りの多い3日間となるよう指導していきます。(6年担任)